

グローバルCOEプログラム
境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界

2012年度・前期
道民カレッジ連携講座

土曜市民セミナー 共催



北海道大学総合博物館
北海道大学スラブ研究センター

京劇のなかの 女性像

—悪女と聖女、イメージと役柄の変遷

講師 田村 容子
(福井大学教育地域科学部・准教授)

男の女を獪するのではない。女の男を獪するのである。
かつて京劇を見た芥川龍之介は、こんな言葉を残しています。
京劇は、伝統的な芸能でありながら、つねに中国の現代を表現してきました。
とりわけ20世紀の舞台では、さまざまなヒロインが男性の英雄に代わって活躍します。三行半をつきつける悪女、革命少女の冒険活劇、人妻の聖なる母乳…めくるめく京劇の女性像を、映像で覗き見してみましょう。

日時・会場

4月21日(土) 13:30~

北海道大学総合博物館 1階
「知の交流」コーナー

入場無料 | 申込不要 | 定員60名

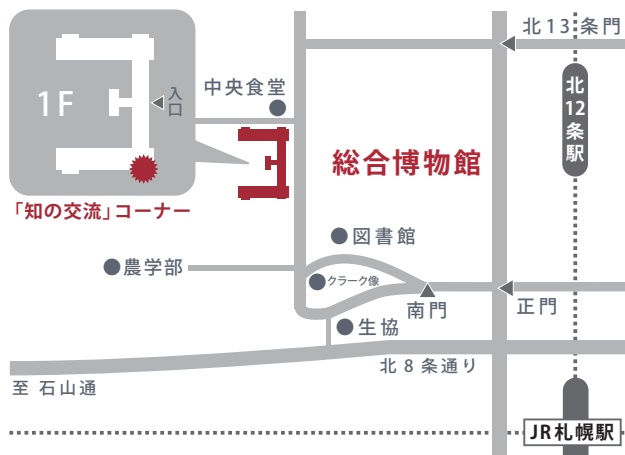
*定員を超えると立ち見となる場合がございます。予めご了承下さい。

本セミナーに関するお問い合わせ先

SRC 北海道大学スラブ研究センター「境界研究の拠点形成」事務局
TEL: 011-706-2380/4809 E-mail: gcoe-jimu@slav.hokudai.ac.jp
http://borderstudies.jp

北海道大学総合博物館

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
TEL: 011-706-2658 http://www.museum.hokudai.ac.jp/



関連展示



GCOE 第6期成果展示
「越境するイメージメディアにうつる中国」展
第2部「変貌する中国の女性像」～5月13日(日)まで
会場 | 北海道大学総合博物館 2階 GCOE 展示ブース